

分担金・拠出金の名称	エスカップ基金(ESCAP)拠出金	評価	A
拠出先の国際機関名	国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)		
国際機関の概要	国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)は、国連経済社会理事会の地域委員会の一つであり、アジア太平洋地域における経済・社会・環境等に関する問題を解決するため、多様な会合やワークショップ等の開催や、他の国際機関等との連携による事業の実施等により、各国における開発や、政策決定者・実務者の能力向上等を行い、域内の格差是正・貧困削減に貢献するとともに、域内協力の推進に寄与することを目的とする。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
1. (1) 成果目標:ESCAPへの拠出を通じて、我が国の重要外交開発課題の遂行を促進し、我が国実施事業との相互補完性を高める 活動指標:ESCAPが開催する防災に関連する会合、ワークショップ等の開催数、ESCAP域内加盟国(49か国)における障害者権利条約締約(批准・加入)国数		ESCAPは、我が国が推進する防災や障害者等についても積極的に支援を行っており、防災に関しては、JAXAと連携し、域内加盟国において衛星を利用した早期警戒システムの整備を行う等毎年多くの支援を行っている。また、障害者支援については、これまで20年以上に渡り協力関係を維持しており、平成26年4月には障害者に配慮した防災に関する会合を仙台で開催する等、アジア太平洋地域における問題解決に貢献。	
(2) 成果目標:ESCAPにおける我が国の発言力・影響力を確保する 活動指標:Dレベルポストの確保、我が国とのハイレベルにおける意見交換の実施		1981年以降、7代に渡り邦人がESCAP事務局次長(D2ポスト)を務めている。同ポストはESCAP事務局長に次ぐものであり、経済、社会、環境その他多岐に渡るESCAPの活動に影響力を持つ重要なポストである。同ポストに就いてきた邦人職員と密に連携を取ることで、これまでESCAPとの良好な関係が維持されてきた。毎年開催されるESCAP総会には、毎年政務レベルが出席し、閣僚級会合での演説やESCAP事務局長との会談を実施。会談では、日本の推進施策について説明することにより我が国の発言力・影響力確保に大きく貢献している。	
(3) 成果目標:効率的な組織・財政マネジメントの実現 活動指標:具体的な組織運営改善措置の導入		本拠出金の利用については、ESCAP事務局からの要請に応じて個別に事業内容を精査することとしており、適切な事業、金額を利用する体制を整えている。また、ESCAP事務局は外部監査の導入により、事業の運営や効率性に関し、毎年厳しく精査した上で、その後の事業を計画している。2015年のESCAP総会では、2016年からのESCAP機構改革に関する決議案を採択。適切な人員配置や組織体制を整えることにより、事業や拠出金のより効率的な利用を目指している。	
(4) 成果目標:我が国人材の知見、技術の提供による開発途上国への貢献 活動指標:邦人職員の増強。		1981年以降、7代に渡り邦人がESCAP事務局次長(D2ポスト)を務めている。	
2. PDCAサイクルの確保		ESCAPにおいては、以下の通りPDCAを確保。 ①Plan:ESCAP事務局より、我が国の支援を必要とする事業について資金協力要請。②Do:当該事業について精査を行った上で、日・ESCAP協力基金より必要額を支出。在タイ日本大使館を通じてESCAPの運営・活動のモニタリング。③Check:内部・外部監査報告書による運営・事業活動の成果を評価。④Act:年次総会へ我が国政務レベルが出席することにより、ハイレベルで運営に係る改善を提言する機会を確保している。また、常駐代表者会合を通じても要改善事項につき申し入れを行っている。	
担当課・室名	国際協力局 地球規模課題総括課		